

✧ 海外ニュース ✧

米国 2024年4月1日 NBC 6 South Florida

■ フロリダ州の通行料援助プログラムがもう1年復活

Florida toll relief program returns for another year

先月、州議会議員の承認が得られた後、有料道路を頻繁に利用する人にクレジットが与えられる1年間のプログラムが月曜に開始した。このプログラムには約4億5,000万ドルのコストが必要になると見込まれるが、有料道路を月に35回以上利用する運転者、サンパスまたはその他フロリダ州のトランスポンダーを有する運転者に50パーセントのクレジットが与えられることになる。月曜に姿を現したデサンティス知事は、マイアミ・デイド郡の1億5,000万ドルのゴールデン・グレイズ・ハイウェイ計画を前進させる建設についても発表を行った。

フランス 2024年4月4日 APRR

■ オートサヴォワ県でATMBネットワークの乗継拠点が設置される

Un hub mis en service en Haute-Savoie sur le réseau ATMB

カーシェアリングなど交通手段が発達するにつれて、高速道路もそれに追いつく。オートサヴォワ県高速道路40では、ボンヌヴィルのインターチェンジ17の地点で乗継拠点が建設されることになり、ATMBネットワーク（モンブランの高速道路とトンネル）へのアクセスが簡単になる。工事には8カ月を要し、ボンヌヴィルのインターチェンジ17の通行料金徴収所前に30台分のカーシェアリング駐車場が設置され、今後は100台までの車両が待機して利用できるようになる。

スペイン 2024年4月5日 Ferrovial

■ フェロビアル社、アクシオナ社およびサシール社は、リマ周辺環状道路を開発予定で、投資額は34億ドルに達する

Ferrovial, Acciona y Sacyr desarrollarán el Anillo Vial Periférico de Lima por una inversión de 3.400 millones de dólares

今回開発される都市高速道路は34.8kmの距離を有し、リマとカヤオの間をつなぐ便利な道路となり、450万人以上の人々にとって有益な道路建設となる。この道路インフラ建設により7万人以上の雇用が創出され、この地域の社会・経済発展を推進するとされている。フェロビアル社、アクシオナ社およびサシール社からなる企業連合は周辺環状道路の建設を実施予定で、投資額の34億ドルには政府からの出資が含まれている。

英国 2024年4月5日 Highways Magazine

■ 新たなコンクリートセンサーが強度を予測する「強化AI」を利用

New concrete sensors use 'enhanced AI' to predict strength

英国に拠点を置く建設技術の専門業者コンバージ社との提携において、ターマック社のセンサーはAIモデル化と組み合わせることでコンクリート強度を予測できるリアルタイムデータを収集する。これによりコンクリートのオーバースペックを防ぐことができ、結果として低炭素ソリューションが利用可能となり、建設計画を迅速化できる。これはターマック社の親会社であるCRH社のベンチャーキャピタル部門、CRHベンチャーズによるコンバージ社の技術の広範な調査プロセスを受けたものであるが、ソリューションおよびそのビジネスチャンス进行评估する12カ月間の試験につながった。

米国 2024年4月9日 Civil + Structural Engineer magazine

■ アクロー社のモジュール式鋼橋によりニュージャージー州北部で大規模道路工事の交通混雑が最小化

Acrow's Modular Steel Bridge Minimizes Traffic Disruptions During Major Highway Construction in Northern New Jersey

大手橋梁工学・提供企業であるアクローは、ガーデン・ステート・パークウェイで長期にわたる建設プロジェクト中に3車線を維持するためモジュール式鋼橋を設計、提供したと述べた。このルートは交通量が多く州で人

気のある沿岸地域への主要リンクであるため、数年にわたるプロジェクトの成功には仮設橋が必要であると考えられた。「運転者の安全向上に加え、このような道路改善プロジェクトは雇用拡大や経済発展を支える。アクロの橋はプロジェクトの間、交通を動かす理想的な方法であり時間とお金を節約できる」と同社のパリシ氏は述べている。

英国 2024年4月9日 Construction Briefing

■ コステイン社がコンクリートセンサー技術を試験

Costain trials concrete sensor technology

英国に拠点を置く建設会社コステインは、コンクリートが固まる際の温度や強度をモニターする Maturix 社のコンクリートセンサーを使用してきた。ガイア 200 と呼ばれるこれらのセンサーは、大きなスマートフォン程度の大きさで、技術者、仮設工事設計者、その他請負業者へ無線でリアルタイムデータを提供する。コステイン社によると、これらのセンサーの導入により型枠を整える時間が平均で約 33% 削減されたとしている。同社担当者は「この技術により仮設構造物をさらに再利用でき、材料の量やカーボンフットプリントを削減でき、これはもう 1 つの大きな利点となる」とコメントしている。

英国 2024年4月15日 The Independent

■ RAC 社が路肩を元に戻し「死の罠」であるスマートモーターウェイを廃止するよう政府に要求

RAC demands government brings back hard shoulders and scraps 'death trap' smart motorways

スナク首相が英国の将来の計画スマートモーターウェイ開発すべてを廃止したちょうど 1 年後の今、RAC 社は路肩を常設に戻すこと、あるいは混雑時にのみ開通する「動的」車線を要求している。全車線スマートモーターウェイは路肩を持たず、既存の安全車線が交通容量を増やすため追加の走行車線に転換されたものである。運輸省の広報担当者は「スマートモーターウェイは統計的にわれわれの道路網で最も安全ではあるものの、人々に運転中の安全を感じてもらわなければならないと認識しており、すべての新たなスマートモーターウェイ構想を中止している」と述べている。

ドイツ 2024年4月15日 VerkehrsRundschau

■ 駐車場問題：パーキングエリアで依然トラック用駐車スペースが不足

Die Parklücke : Weiterhin Engpässe bei Lkw-Stellplätzen auf Rastanlagen

高速道路沿いトラック用駐車スペースの不足はドイツ全土で深刻な問題である。運転手にとってストレスが多く危険な状況であり、連邦交通省は駐車スペースの新設を優先課題に位置付けて取り組んでいる。2018 年の調査では 23,000 台分が不足しているとされ、以来年間 1 億ユーロの予算を確保し、2023 年までに約 3,000 台分を新設した。さらに同省はテレマティクス駐車場検出システムの採用を拡大し、駐車場を探して往来するトラックの交通量を減らす計画である。また運送業界からは、貨物輸送をトラックから鉄道に転換してトラックの交通量を減らす、中継運送を活用してパーキングエリアでの宿泊の必要性をなくす、などの対策も提案されている。

スペイン 2024年4月17日 EL MUNDO

■ プエンテ大臣、道路通行料に関する議論を再開し「高速道路は無料ではなく、税金か通行料によって支払われる」と述べた

Puente reabre el debate de los peajes : "Las carreteras no son gratis, o se pagan con impuestos o con peajes"

スペインの持続可能な運輸・交通大臣オスカル・プエンテ氏は、通行料を支払う高速道路網計画は、今でも存続していると述べた。一度は、ネクスト・ジェネレーション基金に対してアクセスする中で、欧州委員会との履行義務リストからその案を撤回していた経緯が昨年 9 月にあった。2024 年から通行料金制度を採用する予定であったが、道路運営料金を現在のように税金から拠出するか、通行料金の徴収によりまかなうかが議論の対象となってきた。全国民からの税金を充当するか、道路利用者からの徴収金のみで道路運営を実施するかで選択が迫られている。

ドイツ 2024年4月18日 Die Autobahn

■ 自動運転トラックが高速道路を初走行 —MAN 社によるテスト走行が成功

Erster autonomer Truck auf der Autobahn —erfolgreiche Testfahrt von MAN

2024年4月、自動運転トラック初のテスト走行が高速道路上11kmの区間で実施され、運転手の介入なしで無事に全区間を走行した。今回のテスト走行は、自動車メーカーMAN社が高速道路の運営管理を担うアウトバーン社ほか10社との協力で2022年より実施している自動運転トラック開発パイロットプロジェクト「ATLAS-L4」の一環として行われたものである。ATLAS-L4はロジスティクス拠点間を結ぶ高速道路を走行する自動運転トラックの開発・導入を目指している。これが実現すれば、燃料効率が向上するだけでなく運転手不足の解消にも一役買うものと期待されている。今後開発チームは2024年12月のプロジェクト完了までに社会実装コンセプトをまとめ、商用化の準備を進める。

米国 2024年4月19日 VINCI

■ ヴァンシ社、デンバー（米国コロラド州）の幹線道路のノースウエスト・パークウェイ区間を獲得する契約を締結した

VINCI finalise l'acquisition de la section Northwest Parkway du périphérique de Denver (Colorado, États-Unis)

今回のヴァンシ社によるデンバー環状道路であるノースウエスト・パークウェイ区間の100%獲得は、同社のアメリカにおける最初で最大のインフラ買い取りとなる。この道路獲得を実施したヴァンシ・コンセッション社は、ヴァンシ・グループの一部を構成し、さらにその系列会社であるヴァンシ・ハイウェイズが約12億ドルで購入する契約を締結した。この金額は株式価値の100%に相当する。長さ14kmのこの有料道路は、デンバー空港、インターステート25、およびルート36とを結び、将来、同地域の経済的効果が期待されている。

米国 2024年4月20日 Roads & Bridges

■ ボルチモアのキー橋再建への検討事項

Considerations for Rebuilding Baltimore's Key Bridge

3月のフランシス・スコット・キー橋の倒壊の後、アメリカで最も通行量の多い港への経路を迅速に片付けるべく緊急フェデラルファンド6,000万ドルと多くの救難船がボルチモアに集まった。この取り組みでは今後巨大橋の再建の準備をすることになる。第一の検討事項は径間長であり、キー橋は366メートルの径間長を有していたがダリ号が柱に衝突することを防げなかった。第二は構造であり、今日ではそびえ立つ柱に取り付けられたケーブルを使用し車道を支える斜張橋がこのような長さに対して一般的である。最後に官僚組織がいかに迅速に巨大建設プロジェクトを承認すべく動けるかという懸念事項がある。

英国 2024年4月22日 New Civil Engineer

■ 定期的な技術障害がデータで示される中、再びスマートモーターウェイの安全性が問われている

Safety of smart motorways again questioned as data shows regular technology outages

BBCの番組パノラマの情報公開請求により、故障車両が対向車線から保護されずアクティブレーンで立ち往生する可能性を伴うスマートモーターウェイの停止車両検出技術の故障の頻度が明らかとなった。BBCによると、情報公開データはスマートモーターウェイでの停電が2024年2月までの6か月間に174回すなわちほぼ1日に一度生じたことを示している。National Highwaysは全車線走行スマートモーターウェイで同技術を改善させることに同意した。王立自動車クラブは、路肩を全車線走行道路へ戻すべきという要望を再度表明している。

フランス 2024年4月22日 Libération

■ 2035年に熱利用エンジンが終了する：欧州会計検査院は、欧州がそれを受け入れる態勢にないと見ている

Fin des moteurs thermiques en 2035 : la Cour des comptes estime que l'Europe n'est pas prête

欧州会計検査院は、4月22日に発表された報告書の中で、欧州連合が設定した2035年までに熱利用エンジンを終了させる目標を達成するために3つの必要条件が揃っていないと指摘している。1番目に、ガソリンや

ディーゼルを使った熱利用車の CO₂ 排出の削減。2 番目に、バイオ燃料、合成燃料および水素燃料の代替エネルギーの開発。3 番目に、電気自動車の普及。最初の規制から 11 年後の 2020 年になって初めて、熱利用エンジン自動車の CO₂ 排出量が減り始めた。大部分の熱利用車の排出量は 12 年前と変わっていない現実がある。

米国 2024 年 4 月 24 日 Concrete Products

■ 建設業協会が計画地球温暖化ガス排出量評価、追跡、削減ツールをプレビュー

AGC previews project GHG emissions assessment, tracking, reduction tool

www.agc.org で 5 月 1 日までに掲載予定の脱炭素化および炭素報告の戦略書は、計画実施を通じた炭素削減対策の作成において米国建設業協会が行っている取組みの 1 つである。同協会の CEO によると、目標は会員が責任を理解するため明確で実行・反復可能なリソースを持ち、計画の影響を測定し、できる限り効率的に運営することを確かなものとする事である。戦略書にはコンクリート、鋼、アスファルト、板ガラスのような主要材料の排出を考慮に入れたカーボンフットプリント計算の助けとなるリソースが含まれる。

ドイツ 2024 年 4 月 25 日 Die Autobahn

■ アウトバーン社、社用車の電動化を推進

Autobahn GmbH elektrisiert Fuhrpark

ドイツの高速道路建設・管理運営を担うアウトバーン社は、環境保護について自らが負う大きな責任を自覚し、サービスエリアへの高速充電インフラ設置事業とともに自社の社用車電動化にも力を入れている。現在、まず乗用車をすべて電気自動車に切り替えることを目指しており、すでに厳しい業務使用条件下で電気自動車とハイブリッド車のテストを完了。また電気自動車への切り替えがスムーズに進むよう、2024 年初頭には同社の各支社・支所への充電インフラ設置を 4 社に委託した。また自ら所有する大型商用車についても、よりサステイナブルな走行のためにバッテリーのほか合成燃料、バイオメタンや水素などの代替駆動コンセプトを検討している。

米国 2024 年 4 月 26 日 CBS News

■ ニューヨークの渋滞課金開始日が 6 月 30 日に。ゾーンの地図や料金は要確認

NYC congestion pricing start date set for June 30. See a map of the zone and how much it will cost

この物議を醸している計画では、都市交通局が「渋滞緩和ゾーン」と呼んでいるマンハッタンの中心業務地区（ナンバープレートを読み取る同局のカメラ 100 台以上に取り囲まれている）への入場料が徴収される。この渋滞課金によりゾーン内で 1 日あたり車両 100,000 台の削減につながると見積もられている。同局によると渋滞課金にはいくつかの割引や免除が用意されている。渋滞課金ゾーンはマンハッタンの中心業務地区を囲んでおり、マンハッタン南部全体を含み北は 60 丁目へ達する。同局はホームページに渋滞課金計画に関する情報を幅広く掲載している。

英国 2024 年 4 月 30 日 Traffic Technology Today

■ インターコンプ社が世界市場へポータブルデュアルプラットフォームスケールソリューションを展開

Intercomp launches portable Dual Platform Scale solution on the global market

ポータブル車両計量・計測製品の製造業者であるインターコンプ社は、デュアルプラットフォームスケール LTR788 の工業用はかり世界市場への導入を発表した。LTR788 は、輪荷重計に新たな機能を加え、複輪構造における個々のタイヤ荷重を直接測定するために作成された。両タイヤに適正に負荷をかけるよう空気圧を設定することで、複輪構造内の不均等な重量配分を特定、修正することができる。この情報を用いることで、交通安全を向上させ、不均等なタイヤ摩耗に関連する設備故障を避け、燃料節約と修理費削減を通し儉約することができる。